



第38回丸亀城菊花展 (11月13日(金)まで開催)

## 9月定例会 9月1日~18日

### 主な内容

- 本会議のあらまし・人事案件 ..... 2
- 質疑 ..... 3~4
- 意見書 ..... 4
- 一般質問 ..... 5~10
- 委員会審査 ..... 11
- 決算委員名簿 ..... 12
- 審議した議案とその結果 ..... 12

# 9月定例会

## 国民健康保険条例の一部改正<sup>ほ</sup>か

### 原案の通り可決

ました。

## 本会議の あらまし

9月定例会は、1日から18日まで18日間の会期で開かれ

1日は、平成20年度の決算認定議案を上程しました。一般会計及び各特別会計（委員11名）、企業会計（委員9名）の決算特別委員会を設置し、閉会中も継続して審査することになりました。

続いて、議案第65号を審議し、1名から質疑がありました。討論はなく原案を承認しました。この後、諮問第2号の人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

最後に、議案第66号から議案第77号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

3日は、議案第66号から議案第77号までについて、4名が質疑を行いました。

4日から9日までは、16名が市政全般についての一般質問に立ちました。

10日に都市経済、教育民生、11日に生活環境、総務の各委員会、それぞれ所管事項について議案審査が行われました。

18日の最終日は、委員会に付託していた議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認の報告がありました。

9月定例会で議案説明する市長



2名が反対討論を行い、起立採決の結果、賛成多数でいずれも原案を可決しました。

続いて、意見書案第2号「私学助成の拡充発展に関する意見書」を可決し、香川県と政府関係機関へ送付することになりました。

以上で、今期定例会は閉会しました。

## 人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次の通りです。

▼人権擁護委員候補者  
郡家町 松野 幸子  
(敬称略)

- 垂水町 鈴木紀美江
- 綾歌町岡田東 土岐 久和
- 飯山町東小川 大池 充

### 議会を

### 傍聴しませんか

みなさんが選んだ議員の活動ぶりや、行政が今どのようなことを行っているかなどを知っていただくため、本会議など議会の傍聴をしませんか。

会議当日、本館2階傍聴受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで。

(☎24-8828)

## 討論

松浦正武

①一般会計補正予算(第3号)

(債務負担行為補正・可燃ごみ及び不燃ごみ収集運搬業務委託料、し尿収集運搬業務委託料、(仮称)新学校給食センター及び飯山学校給食センター調理等業務委託料)

②物品の購入(新学校給食セ

ンター給食配送車)  
③物品の購入(新学校給食センター食器カゴ・食缶)  
(①③に反対)

尾崎淳一郎

①一般会計補正予算(第3号)

(債務負担行為補正・可燃ごみ及び不燃ごみ収集運搬業務委託料、(仮称)新学校給食センター及び飯山学校給食センター調理等業務委託料)

(①に反対)

# 質疑

## 質問者・項目

太字の項目は本文中に  
要約文を掲載

### 倉本清一

- ①専決処分の承認（一般会計補正予算（市税還付金））②一般会計補正予算（墓地管理費、中学校施設費、東中学校安全対策事業費）③地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

### 藤田伸一

- ①一般会計補正予算（債務負

- 担行為補正・新学校給食センター及び飯山学校給食センター調理等業務委託料）

### 三木まり

- ①一般会計補正予算（女性特有のがん検診推進事業費、新型コロナウイルス感染症対策事業費、肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業費、緊急雇用創出事業費、農地有効利用支援整備事業費）

### 中谷真裕美

- ①一般会計補正予算（債務負担行為補正・新学校給食センター及び飯山学校給食センター調理等業務委託料、住宅手当緊急特別措置事業費）

## 東中に防犯カメラ設置理由と効果は

### ◎倉本議員 東中学校では以前から自転車置き場で被害が頻発しており、見回り等をしても効果がなかった。今回保護者や学校からの強い要望で、防犯カメラを設置したが、事件の抑止効果はあったのか。また、夜間に部外者の侵入があったにもかかわらず、設置場所は自転車置き場と部室周辺だけである。人

出入りする正門に設置しないのはなぜか。併せて、安全対策として正門に門扉を設置するということだが、これまで東中は「開かれた教育を」ということから、設置してこなかった経緯がある。この考え方や教育方針は、どうなっているのか。



安全対策で設置した防犯カメラ

が出入りする正門に設置しないのはなぜか。併せて、安全対策として正門に門扉を設置するということだが、これまで東中は「開かれた教育を」ということから、設置してこなかった経緯がある。この考え方や教育方針は、どうなっているのか。

### ▲教育部長 防犯カメラを設置したのは8月で、設置してからの期間が短いため、十分には比較できないが、4月から夏休み前まで数十件あった自転車への被害等が、夏休み中はまったくなく、今のところ抑止効果があったと考えられている。設置場所については、学校側から特に自転車置き場との要望が強かったため、所期の目的が達成すれば、学校と協議し早急に撤去したい。

また、正門にはこれまで門扉がなく、関係者以外の出入りが多いことから、安全面に支障が出ていた。今回、安全対策の面から門扉を設置するもので、これにより、開かれた学校づくりや教育方針が変わることはないと考えている。

## 給食の民間委託雇用への影響は

### ◎藤田議員 新学校給食センターの調理業務を民間委託することは、地域の雇用環境を悪化させる懸念がある。その理由として、委託契約期間は3年だが、3年後引き続き同じ会社が契約をしなければ、そこで働く人の職場がなくなる。あるいは、競争入札で業者を選ぶため、委託金額の低価格競争が進み、そこで働く人の賃金にシワ寄せが来ることにも危惧される。そこで、次のことを伺いたい。①民間委託により想定されるデメリットを上回るメリットは何か②民間委託しても雇用環境の悪化を招かないような方策を検討しているのか。

▲教育部長 ①民間委託のメリットとして、給食業務にかかる人件費を中心に経費節減を図り、浮いた経費を学校教育や給食施設の充実、食育の推進に充てることができる②事業者の応募要件に、新たに人を採用する場合は、現在の給食センターに勤務している臨時調理員で新センターへの勤務を希望する者を優先的に採用する項目を入れる

ことにしている。また、事業者の選定に当たっては、提案内容が調理従事者の定着や地元雇用といった地域貢献策を図っているか、あるいは業務実施体制が関係法令を遵守しているかを重視したいと考えている。

## 肺炎球菌ワクチン公費助成の内容は

### ◎三木議員 肺炎は、がん、心臓病、脳血管疾患に次いで死亡率の4位であり、高齢者ほど死亡率が高い。特に重症化しやすいのが肺炎球菌だが、予防接種をすれば、効果は5年間ほど続く。これまでワクチンの公費助成を実施し、肺炎患者が大幅に減ったことで、医療費抑制に貢献した自治体もある。本市でも、肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業を実施するということが、なぜこの時期に実施するのか。また、事業効果が出るにはある程度の期間を要するが、いつまで実施する考えか。

▲健康福祉部長 肺炎球菌は、インフルエンザなどの感染症に罹患した場合、二次感染による肺炎などを引き起こす要因となる。現在、新型インフルエンザが全国的に流行し、今後季節性

インフルエンザの流行時期と重なることも懸念されている。そこで、インフルエンザワクチンを併せて接種することにより、より高い肺炎予防効果が期待でき、高齢者の医療費負担を軽減する効果も高く、今回実施することを決めた。また、今後インフルエンザの流行が予測されることから、継続して事業を実施する必要がある。しかしながら、財源が国の経済危機対策臨時交付金であり、次年度以降については、国の動向や予防接種状況を踏まえて検討したい。

## 学校給食センター 民間委託の効果は

◎中谷議員 新学校給食センターの調理業務を平成22年度から民間委託するため、3年間で4億7250万円の委託料が債務負担行為として補正計上されている。これまで、経費削減になるからとの理由で民間委託が進められてきたが、直営で運営した場合と比べてどの程度安くなるのか。また、新センターは大規模な施設となるが、地元野菜の使用や食物アレルギーを持つ児童への対応などに取り組む

ことこれまで説明してきている。今回計上されている委託料は、そのために必要な調理員数を基に積算しているのか。

△教育部長 新センターを民間委託した場合、委託しないで直営で運営した場合と比べると、給食センター全体では、年間約1700万円の経費削減効果があると思われる。

また、食物アレルギーを持つ児童への対応は重要な課題であり、7月に学校給食食物アレルギー検討委員会を設置した。今後慎重に検討する必要があるため、当面はアレルギー対応食を実施できないが、応募事業者に対する募集要項等には、そういった取り組みを明記し、専門的な技術と経験を持つ安全・安

心な給食を提供できる業者を選定する。その上で、今回の委託料算定に関しても、給食内容の充実を保证するものだと考えている。



おいしく安全な給食を

議会だよりは、紙面の都合により、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約の上、掲載しています。

## 丸亀市のホームページもご覧ください

市HPの「丸亀市議会」を開くと、議会日程、提出議案・審議結果、一般質問の項目、議員名簿等を掲載しています。

## 私学助成の拡充発展に関する意見書

我が国は、個性豊かな人材の育成に対応した特色ある教育が求められている。このような時代にあつて、私立学校は長きにわたり、建学の精神と独自の校風、自主的な運営を通じて、特色ある教育活動を行ってきた。その果たす役割は、極めて大きく、今後も社会から期待されている。

しかしながら、私立学校に対する公費負担は公立学校と比較すると3分の1にも満たず、公私間格差は依然として大きく、授業料の滞納や退学を余儀なくされる者もおり不公平感が広がっている。加えて、全国的な生徒数の長期的減少傾向により私立学校を取り巻く環境は、以前にも増して厳しいものとなっている。

また、本年7月、文部科学省の諮問機関「教育安心社会の実現に関する懇談会」の報告では、教育費のあり方について、「子どもは社会の宝であり、社会の宝である子どもたちの教育は、子どもを持つ家庭や学校、行政だけではなく、社会全体で関わるべきもの」という認識に立ち、特に教育費の保護者負担の軽減については具体的な方策が提案されている。

よつて、政府並びに香川県におかれては、このような私立学校の現状を強く認識され、健全な発展を図るため、私学助成のための制度堅持及び拡充と、保護者負担の軽減に努められるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
平成21年9月18日

丸亀市議会

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣

財務大臣 文部科学大臣

香川県知事